

学びのR

No.21 (平成31年3月)
埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform(改革)」の頭文字です

*** 「主体的・対話的で深い学び」で授業改善① *** ~カリキュラム・マネジメントの視点で「総合的な学習の時間」をデザインする~

*今回は、①「総合的な学習の時間における主体的・対話的で深い学び」、
②「総合的な学習の時間を柱に据えたカリキュラム・マネジメント」について考えます。

① 総合的な学習の時間における主体的・対話的で深い学び

今回の改訂では、「**探究的な学習**」の過程を一層重視し、各教科等で育成する資質・能力を相互に関連付け、実社会・実生活において活用できるものとするとともに、各教科等を越えた学習の基盤となる資質・能力を育成することに重点が置かれています。

総合的な学習
の時間における
主体的・対話的で
深い学び



探究的な学習
(問題解決的な活動が
発展的に繰り返されていく
一連の学習活動)

単元全体が、**探究の過程**
(課題の設定→情報の収集→
整理・分析→まとめ・表現)
を発展的に繰り返すように構成
することが大切になります。

また、総合的な学習の時間では、以下のように**探究的な「見方・考え方」**を働かせることが重要であるとしています。

総合的な学習の時間における見方・考え方

- ①各教科等における見方・考え方を総合的に活用すること。
- ②広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えること。
- ③実社会や実生活の文脈や自己の生き方と関連付けて問い続けること。



探究的な学習
で見られる
児童・生徒の姿

- 事象を捉える感性や問題意識が揺さぶられて、学習活動への取組が真剣になる。
- 身に付けた知識及び技能を活用し、その有用性を実感する。
- 見方が広がったことを喜び、更なる学習への意欲を高める。
- 概念が具体性を増して理解が深まる。
- 学んだことを自己と結びつけて、自己の成長を自覚したり、自己の生き方を考えたりする。

② 総合的な学習の時間を柱に据えたカリキュラム・マネジメント

総合的な学習の時間は、各学校において、教科等横断的に目標や内容を設定できるため、特色に応じた学校独自の学習活動を展開することができます。そのため、総合的な学習の時間は、『**カリキュラム・マネジメントの視点**』からも極めて重要な役割を担うことが期待されています。

【カリキュラム・マネジメント】とは？

「全ての教職員の参加によって、教育課程の編成・実施・診断・評価・改善を通して、学校の特色を創り上げていく営み」です。

- ①学校の教育目標を踏まえた**教科等横断的**な視点
- ②子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づいた**PDCAサイクル**の確立
- ③教育内容と、教育活動に必要な**人的・物的資源の効果的な活用**

【カリキュラム・マネジメント】で大切なポイント

「児童・生徒に表れた課題」を明らかにし、地域と情報共有しましょう。

- ・「埼玉県学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査等の結果」、「学校評価アンケート」、「日々の授業記録」、「学校運営協議会での意見」等を学校・地域・家庭で共有し、課題を明らかにしましょう。

「育成したい資質・能力（ゴール）を明らかにして、手立て（プロセス）を共通理解しましょう。」

- ・課題をもとに、地域・学校・保護者の願う「9年間で育てたい力」を設定し、共有しましょう。
- ・どのように育成していくのか、学校、地域、保護者それぞれの役割を明確にしましょう。

<例>全体計画の中に9年間を通して「育成したい資質・能力」を記載する（小中のつながりを意識）

学年	目標を実現するにふさわしい探究課題単元名(例)	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
3年	商店街の発展に向けて努力する人々と活性化の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 ・探究課題に対して多面的な視点で探究活動を行うことで、地域の特徴やよさに気付き、探究課題に対する自分なりの概念形成をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を通して得た情報や、他者からの情報を基にして自ら課題を設定できる。 ・調査して得た情報を基に、比較・分類等の思考を駆使して整理・分析することができる。 ・考えたことを根拠を明らかにしてまとめ・表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むことができる。 ・探究的な学習を基に、「自分にはできることは何か」の視点を持って活動したり、自分の思いや考えを振り返り今後の自分について考えたりすることができる。
4年	身近な環境問題と自分たちの暮らし			
5年	食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者			
6年	安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々			
中1	・職業の選択と働くことの意味	<ul style="list-style-type: none"> ・職業調べを通して世の中にある職業の種類とその特性について知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体験事業を通して経験した内容を整理・分析し壁新聞形式で、その成果を分かりやすくまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業調べや社会体験事業を通して自己の生き方を考え、夢や希望を持とうとする。
中2	・世界の環境問題と地域の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自然教室を通して身の回りの自然環境について知り、環境問題が世界全体にかかわっていることに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の環境問題について調べた内容を整理・分析し、その成果を、レジュメ資料を活用して分かりやすく発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他のよさを生かしながら協力して自然教室や環境問題調べに取り組もうとする。
中3	・日本の伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や修学旅行で訪問する京都や奈良の建造物等を調べながら日本の伝統文化について知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化について調べた内容を整理・分析し、その成果を、ICT機器を活用して分かりやすく発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果発表会を通して異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。

「つながり」を意識しましょう。

- ・「授業」、「教科等」、「単元」、「校種」、「教員」、「地域」、「保護者」・・・等、様々な「つながり」を意識したカリキュラムを具体的に編成にすることが大切です。

各教科等を学ぶ意味・学習することの意義を見出す児童・生徒の姿

「総合的な学習の時間で取材をしました。インタビューをしたり、記事にまとめたりするとき、国語の学習がとても役に立ちました。算数のグラフもうまく使えました。教科の勉強は、様々な場面で役に立つことが分かりました。」



「社会と実際に関わる学習から、なぜ教室での勉強が必要なのかが実感できました。何よりもまわりから認められる経験が自信につながり、やればできる自分に気付いたことが知識の向上を求めるようになったのだと思います。」

引用・参考 「初等教育資料」2019年1月号、2019年3月号 東洋館出版社
 「カリキュラム・マネジメント指導者養成研修」（天笠 茂）講義資料
 「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（小学校編）」文部科学省
 「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）」文部科学省
 「埼玉県小学校教育課程編成要領」「埼玉県中学校教育課程編成要領」埼玉県教育委員会
 「小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」、「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」文部科学省

「学びのR」
 はこちらからも
 御覧いただけます

